

神奈川県立

よこはま看護 専門学校

神奈川を私が救う

主演：未来のあなた

共演：よこはま看護専門学校教員と共に学ぶ仲間たち 舞台：よこはま看護専門学校

協力：神奈川県

監督：あなた



あなたの未来を描くドラマが始まる



神奈川県立

よこはま看護専門学校

TEL : 045-366-3500 FAX : 045-366-3524

〒241-0815 横浜市旭区中尾 1-5-1

<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/wf3/cnt/f46/index.html>



ACCESS GUIDE



..... 徒歩ルート

相模鉄道特急・急行で横浜から12分

二俣川駅下車(北口)

徒歩：北口から徒歩18分

バス：相鉄バス「運転免許センター循環」乗車

「中尾町」下車(所要時間約6分)

看護師が不足する
神奈川を支える
看護のプロフェッショナルへ

このパンフレットを
手に取った時から
あなたのドラマが始まる



よこはま看護専門学校について

教育理念

本校は、ヒューマン・ケアリングを基盤とし、科学的根拠をもとに人間を理解し、生命の尊厳と尊重を重視した心と心が通い合う看護の実践ができる看護師を養成します。その学びの過程において、看護の対象である人の成長に関わるとともに、自らも人と関わる経験によって人間的に成長することを目指しています。

教育目的

本校は、学校教育法（昭和22年法律第26号）および保健師助産師看護師法（昭和23年法律203号）に基づき、看護師としてヒューマン・ケアリングを基盤に看護実践能力を修得させ、社会に貢献しうる有能な人材を育成することを目的とします。

ごあいさつ

本校は、昭和50年「神奈川県立看護教育大学校 付属高等看護学院」として設置され、平成15年に、神奈川県立よこはま看護専門学校と改められました。2024年、50周年を迎え卒業生は約2780名におよび、半世紀に渡り、神奈川県内の保健・医療・福祉人材の幅広い分野で活躍しています。

本校が目指すものは、他者への関心を持ち、ケアする者とされる者の相互作用を通して互いを慈しみ、成長できるヒューマン・ケアリングと呼ばれる精神を基盤に看護実践能力を修得し、社会に貢献しうる人材を育成することです。また、3年間を通して学年ごとに担任制をとっており、ひとり一人の学びを大切に支援しています。

看護師を目指す方々、その第一歩をぜひ本校で一緒に学んでいきましょう。

神奈川県立
よこはま看護専門学校 校長

杉山 恵子

Principal, Keiko Sugiyama

本校の特色

対象や療養の場の多様化に対応できる看護師の育成



ICT・コミュニケーション能力の強化

電子教科書、教育用電子カルテ等を使った授業・演習により、情報通信技術 (ICT) の進展に伴った基礎的能力の修得ができます。

さらに、対象の多様性・複雑性に対応できるコミュニケーション能力の強化を図ることができます。

ヒューマン・ケアリングを基盤とした看護教育

ヒューマン・ケアリングとは

- ・人との関係性で成り立ち、自己と他者に愛情をもって、心を込めて存在する。
- ・自己と他者への感受性を磨き、人生や生活すべてについて関心をもつ。
- ・看護実践においては、対象を知り、ともに存在し、問題解決の方法を創造し探求する。
- ・こうしたプロセスから、敬意をこめて支援することにより、双方の人的成長をもたらす。



本校では看護学の学習や、人間関係の学習など教育全体を通して、**ヒューマン・ケアリングの精神に基づいた看護を学んでいきます。**

病院との連携による学習支援

ユニフィケーションシステムとは、平成15年に看護専門学校としては本校が日本で初めて導入した、学校と実習病院との連携システムです。看護教員が病院の実践活動を経験しながら、両者で実習指導力や看護技術教育の検討、新人看護職員の支援等を行っています。また、病院の看護師も来校し、看護技術教育の共同授業に参加しています。このように、看護教員の持つ教育力と病院の看護実践力を統合させ、学生の教育の質の向上をめざしています。



臨床判断能力に必要な看護実践力の強化

最新の生体シミュレーターを導入した授業・演習を行い、患者さんの身体状態を確実に観察し、判断する力を身につけられます。



療養の場の多様化に即した実習施設

県内90箇所以上の実習環境の整った施設等で実習を行い、対象に応じた多様な看護実践を学べます。

- 主な実習施設
- 地方独立行政法人神奈川県立病院機構：がんセンター・循環器呼吸器病センター・こども医療センター・精神医療センター・足柄上病院
 - けいゆう病院 ○ 横浜市立みなと赤十字病院 ○ 国際親善総合病院
 - 横浜市立市民病院 ○ 西横浜国際総合病院
 - 聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院 ○ 大和市立病院
 - 横浜市立脳卒中・神経脊椎センター ○ 済生会神奈川県病院
 - 横浜南共済病院 ○ 海老名総合病院 ○ 日向台病院
 - 横浜相原病院 ○ 横浜保土ケ谷中央病院 ○ 横浜甕生病院
 - 相模野病院 ○ 神奈川県済生会横浜市東部病院
 - 訪問看護ステーション、地域包括支援センター、保育園、精神障害者地域生活支援施設など



本校のカリキュラム

カリキュラム概念図

カリキュラムを通じて、学生が人間性豊かな看護師に成長していく様子を「あさがお」をモチーフに概念図に表現しました。基礎分野・専門基礎分野を土台に、専門分野へと進展し、本校のディプロマ・ポリシーである「人間」「関係」「看護実践」「協働」「自己教育」の5つの花びらを咲かせていく過程を概念図に表しています。基礎分野では、「ヒューマン・ケアリング」を科目として位置づけ、相互性のあるケアリングの経験を積み重ね、看護実践能力を身につけていきます。専門分野の基礎看護学および地域・在宅看護論は、看護活動の土台とし、成人看護学・老年看護学・小児看護学・母性看護学・精神看護学・看護の統合と実践へと発展していきます。



カリキュラムマップ

		ディプロマ・ポリシー【卒業認定・専門士授与の方針】				
		[DP1 人間]	[DP2 関係]	[DP3 看護実践]	[DP4 協働]	[DP5 自己教育]
		人間としての尊厳及び権利を尊重できる豊かな人間性を有する	豊かな人間性を基盤に共感できる感性を磨き、相互理解のもと人間関係を築くことができる	科学的根拠に基づいた看護を実践するために必要な臨床判断を行うための基礎的能力を身につける	保健医療福祉チームの一員としての看護の役割を理解し、多職種と協働・連携するための基本的能力を身につける	専門職業人として、社会や保健医療福祉の動向を踏まえ、自ら学び続ける能力の開発に努める
3年次	後期		精神看護学実習 母性看護学実習 小児看護学実習	看護の統合演習	地域・在宅看護論実習	統合実習 ヒューマン・ケアリングⅢ
	前期	成人看護援助論Ⅴ		健康状態別実習Ⅴ 健康状態別実習Ⅳ	地域・在宅看護援助論Ⅲ 多職種連携 社会福祉	看護管理 看護研究Ⅱ 看護のための倫理学Ⅱ
2年次	後期	ヒューマン・ケアリングⅡ		成人看護援助論Ⅳ 成人看護援助論Ⅲ 疾病と治療Ⅳ 疾病と治療Ⅲ	健康状態別実習Ⅲ 健康状態別実習Ⅱ 災害看護／精神看護援助論Ⅱ 母性看護援助論Ⅱ 小児看護援助論Ⅱ 老年看護援助論Ⅱ 地域・在宅看護援助論Ⅱ	医療安全 看護研究Ⅰ 看護関係法令
	前期	成人看護援助論Ⅱ 健康教育	精神看護援助論Ⅰ 母性看護援助論Ⅰ 小児看護援助論Ⅰ 人間関係論	健康状態別実習Ⅰ 老年看護援助論Ⅰ 成人看護援助論Ⅰ 臨床看護技術論 疾病と治療Ⅱ 臨床薬理学 臨床栄養学	地域・在宅看護援助論Ⅰ	英語 情報リテラシーⅡ
1年次	後期	母性看護学概論 小児看護学概論 老年看護学概論 成人看護学概論 地域・在宅看護論概論Ⅱ	看護のための倫理学Ⅰ	日常生活援助実習Ⅱ 看護過程実践論 ヘルスアセスメントⅡ 生活援助技術論Ⅲ 疾病と治療Ⅰ 微生物学／病理学 解剖生理学Ⅳ／解剖生理学Ⅲ		医療概論 教育学
	前期	看護学原論 ヒューマン・ケアリングⅠ 社会学 哲学	日常生活援助実習Ⅰ 精神看護学概論 コミュニケーション技術論 保健体育 心理学 コミュニケーションリテラシー	看護過程総論 ヘルスアセスメントⅠ 生活援助技術論Ⅱ 生活援助技術論Ⅰ 生化学 解剖生理学Ⅱ 解剖生理学Ⅰ	地域・在宅看護論概論Ⅰ	国語表現法 情報リテラシーⅠ

国家試験対策

3年後の国家試験全員合格に向けて1年次から国家試験対策をスタートします。教員全員で学習の仕方からサポートし、各種講義や個別指導を行い全員合格を目指します。

これまでの国家試験合格率

年度	本校	全国
令和5年	96.0%	87.8%
令和4年	97.0%	90.8%
令和3年	100%	91.3%



就職支援

就職ガイダンスを1年次から実施し、学生の個性に合わせた就職に向けて支援します。実習病院をはじめ、神奈川県内の病院への就職率はほぼ100%です。

主な就職実績

- 【地方独立行政法人神奈川県立病院機構】
○がんセンター・循環器呼吸器病センター・子ども医療センター・足柄上病院・精神医療センター
- 【公立病院】
○横浜市立みなと赤十字病院 ○横浜市立市民病院 ○平塚市民病院
○横浜市立脳卒中・神経脊髄センター ○川崎市立川崎病院 ○国立相模原病院
○大和市立病院 ○藤沢市民病院 ○厚木市立病院
- 【大学病院】
○聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院 ○横浜市立大学附属病院
○東海大学医学部附属病院 ○横浜市立大学付属市民総合医療センター
- 【民間病院】
○国際親善総合病院 ○西横浜国際総合病院 ○済生会横浜市東部病院
○済生会横浜市南部病院 ○済生会神奈川県病院 ○けいゆう病院 ○横浜南共済病院
○横浜労災病院 ○日向病院 ○横浜栄共済病院 ○江田記念病院 ○横須賀共済病院
○藤沢湘南台病院 ○済生会リハビリテーション病院 ○新百合ヶ丘総合病院
- 【進学】
○神奈川県立衛生看護専門学校助産師学科 ○日本赤十字社助産師学校 ○首都医校

取得できる資格

看護師国家試験受験資格

保健師・助産師 養成機関受験資格

専門士称号授与

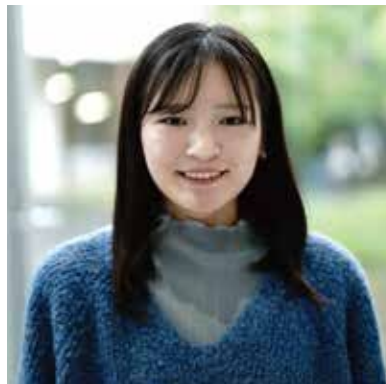
大学編入学試験受験資格

ディプロマ・ポリシー（卒業認定・専門士授与の方針）

本校では、ヒューマン・ケアリングを基盤とした看護実践能力を身につけ、かつ所定の単位を取得した学生に卒業を認定し、専門士の学位を授与します。

- 人間としての尊厳及び権利を尊重できる豊かな人間性を有する。
- 豊かな人間性を基盤に共感できる感性を磨き、相互理解のもと人間関係を築くことができる。
- 科学的根拠に基づいた看護を実践するために必要な臨床判断を行うための基礎的能力を身につける。
- 保健医療福祉チームの一員としての看護の役割を理解し、多職種と協働・連携するための基本的能力を身につける。
- 専門職業人として、社会や保健医療福祉の動向を踏まえ、自ら学び続ける能力の開発に努める。

学生・卒業生の声



指定校
推薦入試

Iさん

私は生まれてから今まで暮らした神奈川県で、地域に貢献し、医療の最前線で患者を守る看護師になりたいと思い入学を決めました。よこ看は、夢を応援してくれる先生やライバルであり仲間でもある友達が沢山います！1人ではないので安心してください。



社会人
入試

Aさん

看護師を目指そうと思ったのは、医療を必要としている子どもとの出会いがきっかけでした。日々の学習、試験、実習と大変なことはたくさんありますが、それぞれが社会で経験してきたことを活かしながら仲間と学んでいます。一緒に看護師を目指しましょう！応援しています！



指定校
推薦入試

Yさん

生体シミュレーターを用いた演習を行うことで、実践に近い形で学ぶことができる点が魅力的に思い、この学校を選びました。勉強や実習は大変な時もありますが、先生のサポートや仲間がいるので安心して学べます。



卒業生

飛澤 海月 さん

母校では、ヒューマンケアリングを基盤とした、人と人との関わりを大切にすることを学び、現在は患者とその家族一人一人が、その人らしく過ごせることを大事に看護に励んでいます。指導者として在学生と関わる機会も多く、学校で学んできた看護を、今度は私が臨床で伝えていくことにやりがいを感じています。実習でお会いできることを楽しみにしています。一緒に看護を実践していきましょう。



一般入試

Oさん

学校の雰囲気の良いことや充実したカリキュラム、臨床実習での実践力を身に付けられるというところに魅力を感じ、入学を決めました。やまゆり祭など行事をとっても大事にしている学校です。現在は、看護師になるという同じ目標を持った友人と切磋琢磨し合い、日々の学校生活や実習では仲間と協力してとても楽しく過ごしています。



卒業生

堀 智行 さん

私は社会人入試枠でよこま看護専門学校に入学しました。学生生活は良い仲間や先生方に恵まれたこともあり、楽しく充実した3年間でした。看護師の免許を取得したのは30歳代でした。神奈川県立こども医療センターでは、実習指導者として看護学生と関わり、看護教員の姿に魅力を感じました。現在は母校であるよこま看護専門学校で教員として勤務しています。

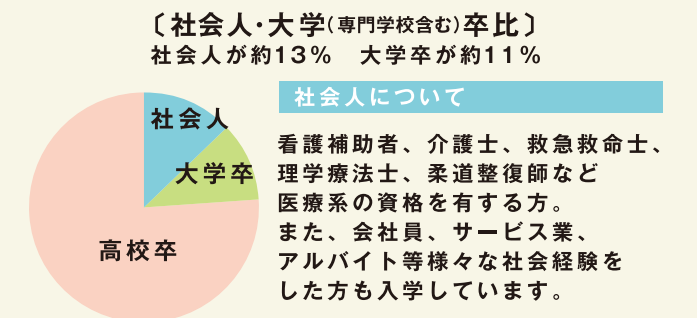
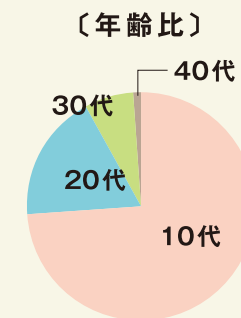
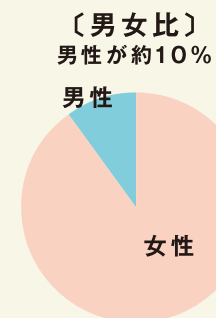


大卒入試

Sさん

大学で柔道整復師を目指して解剖学など学ぶなかで、病に苦しむ患者様だけでなく、その周りの人までも笑顔にする看護師という職業に魅力を感じ、よこ看を志望しました。臨床を学ぶための環境やカリキュラムが充実しているため、入学を決めました。

よくある質問！色々な割合データ



3年間のスケジュール



学校の様子は
インスタグラムを見てね♪



やまゆり祭

地域の方々と交流した企画を行う予定です。県の活動とのコラボレーションで神奈川県庁ブルーハーバーオーケストラによる演奏協力やそのほかの活動も学生主体で取り組みます。



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	入学式 健康診断 開校記念日 新入生オリエンテーション			やまゆり祭 日常生活援助実習Ⅰ	夏季休業	国家試験対策			冬季休業	日常生活援助実習Ⅱ		学年修了式 春季休業
2年次	新学期スタート 健康診断 開校記念日		健康状態別実習Ⅰ	やまゆり祭	夏季休業	国家試験対策	健康状態別実習Ⅱ	聖火継承式	健康状態別実習Ⅲ 冬季休業			学年修了式 春季休業
3年次	新学期スタート 健康診断 開校記念日	各領域別実習開始		やまゆり祭	夏季休業				各領域別実習終了 冬季休業	国家試験対策	看護師国家試験受験	卒業式 看護師国家試験合格発表

キャンパスライフ

1年生の1日

学校編

8:30

9:00

1限の授業 「解剖生理学Ⅰ」



10:40

2限の授業 「コミュニケーションリテラシー」



12:10

昼食・休憩



13:00

3限の授業 「基礎看護学:生活援助技術論Ⅰ 演習」



14:40

4限の授業 「ヒューマン・ケアリングⅠ」



15:30

16:10

2年生の1日

学校編

1限の授業 「成人看護援助論Ⅳ」



2限の授業 「母性看護援助論Ⅱ」



昼食・休憩



3限の授業 「地域・在宅看護援助論Ⅱ」



4限の授業 「医療安全」



3年生の1日

実習編

実習開始 「環境整備」



「バイタルサイン測定」



昼食・休憩



「歩行介助」



実習終了

入学を希望される方々へ

アドミッションポリシー

入学者の受け入れ方針

1. 看護師になるという明確で強い意志を有する人
2. 何事にも進んで取り組み、最後まであきらめない人
3. 誠実に責任をもって行動できる人
4. 自分や他者を大切にでき、やさしさと思いやりの心を有する人
5. 多様な価値観を受け入れ、社会に関心をもって行動できる人

入学料、授業料

入学料

70,500円（初年度のみ）

授業料

年間 217,200円
年4回に分けて納入します

タブレット、電子教材費、ユニフォーム、その他

約 500,000円（3年間の合計）
うち入学時、300,000円程度必要です

2024年7月現在 今後改定予定

修学資金・奨学金制度等

神奈川県看護師等修学資金

日本学生支援機構奨学金

高等教育の修学支援新制度対象校



一般入試

● 受験の流れ

受付期間	10月下旬から11月上旬
第一次試験	11月下旬
第二次試験	12月上旬

● 試験科目

[一次試験]
現代の国語、言語文化
(古文・漢文を除く)、数学I・A
[二次試験]
面接



● 受験資格

次に掲げる条件のうち(1)から(8)までのいずれか一つを満たし、かつ(9)を満たす者で、本校の入学を許可された場合は入学する意思のある者としてします。

- 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び2025年3月卒業見込みの者
- 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び2025年3月修了見込みの者
- 外国において学校教育における12年の課程を修了した者及び2025年3月31日までに修了見込みの者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
- 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び2025年3月31日までに修了見込みの者
- 専修学校の高等課程(修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- 学校教育法施行規則第150条第4号の規定により文部科学大臣が指定した者
- 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者及び2025年3月31日までに合格見込みの者、又は大学入学資格検定規程による大学入学資格検定に合格した者
- 本校において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、18歳に達した者及び2025年3月31日までに18歳に達する者
- 卒業後は、看護職として神奈川県内に就業する意思のある者

指定校推薦入試

● 受験の流れ

受付期間	9月下旬から10月上旬
試験日	10月下旬

● 試験科目

小論文
面接



● 受験資格

次に掲げる条件をすべて満たす者としてします。

- 本校が指定する高等学校又は中等教育学校を2025年3月に卒業見込みの者
- 在学中の学業成績(全体の評定平均値)が3.5以上、かつ国語・数学・理科の評定平均値がそれぞれ3.3以上の者
- 心身共に健康で看護の学習に専念できる者
- 卒業後は、看護職として神奈川県内に就業する意思のある者
- 本校への入学を許可された場合は必ず入学する者
- 在学学校長の推薦する者

大学卒業者入試・社会人入試

● 受験の流れ

受付期間	8月下旬から9月上旬
試験	9月中旬

● 大学卒業者入試 入試試験科目 面接

● 社会人入試 入試試験科目 小論文 面接



● 大学卒業者入試受験資格

次に掲げる条件をすべて満たす者としてします。

- 高等学校又は中等教育学校を卒業した者、又はこれと同等以上の学歴を有する者(一般入試の(2)~(8)参照)
- 2022年4月1日から2025年3月31日までに大学(短期大学及び大学院を含む)を卒業した者又は卒業見込みの者
- 本校の入学を許可された場合は必ず入学する者
- 卒業後は、看護職として神奈川県内に就業する意思のある者
- 修業期間中、学業に専念できる者

● 社会人入試受験資格

次に掲げる条件をすべて満たす者としてします。

- 高等学校又は中等教育学校を卒業した者、又はこれと同等以上の学歴を有する者(一般入試の(2)~(8)参照)
- 2000年4月1日以前に生まれた者
- 2025年4月1日現在で就労経験が3年以上ある者
- 本校の入学を許可された場合は必ず入学する者
- 卒業後は、看護職として神奈川県内に就業する意思のある者
- 修業期間中、学業に専念できる者

社会人施設推薦入試

● 受験の流れ

受付期間	8月下旬から9月上旬
試験	9月中旬

● 試験科目

小論文
面接



● 受験資格

次に掲げる条件をすべて満たす者としてします。

- 高等学校又は中等教育学校を卒業した者、又はこれと同等以上の学歴を有する者(一般入試の(2)~(8)参照)
- 2000年4月1日以前に生まれた者
- 2025年4月1日現在で就労経験が3年以上かつ看護補助者または看護補助者に準ずる業務としての経験が1年以上の者
- 心身共に健康で看護の学習に専念できる者
- 本校の入学を許可された場合は必ず入学する者
- 卒業後は、看護職として神奈川県内に就業する意思のある者
- 在職施設長の推薦する者